

島民

中之島の「街事情」マガジン

冬号 Vol.132
2019 12/1



中之島
Walkin' About!!



ナカノシマ大学

「大阪スパイス・
ヒストリー」

カワムラケンジ

ほか申し込み受付中!

中之島 Walkin' About!!

歩いて、見て、
街を読む!

ここ数年、中之島の楽しみ方としても定着しつつある「街歩き」。一般的には、そのエリアをよく知るガイドと一緒に決められたコースをめぐるか、個人や少人数で気の赴くままに歩くという楽しみ方をされている。そんな中、「Walkin' About」という一風変わった街歩きを行っているのが、『歩いて読みとく地域デザイン』という著書を出版した山納洋さん。参加者が自由に散策し、その後、全員で語り合うのだという。今回は、その舞台に中之島を設定。自由に中之島を歩いてもらい、その感想を踏まえて、山納さんに街歩きのコツを教えてもらった。

協力/Walkin' About@中之島にご参加のみなさん



Conductor
山納 洋さん
大阪ガス近畿圏部
都市魅力研究室長

やまのう・ひろし 1993年入社。神戸アートビレッジセンター、扇町ミュージアムスクエア、メビック扇町、大阪21世紀協会での企画・プロデュース業務を経て、2010年より大阪ガス近畿圏部において都市開発、地域活性化、社会貢献事業に関わる。一方でカフェ空間のシェア活動「common cafe」やトークサロン企画「Talkin' About」などさまざまな活動を展開。著書に「つながるカフェ:コミュニティの〈場〉をつくる方法」(学芸出版社・2016年)、「地域プロデュース、はじめの一歩」(河出書房新社・2018年)など。

Walkin' Aboutって何?

ランフロント大阪
この企画は、グループでそれぞれの見聞や体験を発表してもらい、私たちがその内容をレポートにまとめます。



街を歩く参加者。同じ場所を見ていても視点はそれぞれ。



まずは駅の改札に集合。参加人数は毎回10名前後です。

「Walkin' About」は、参加いただくみなさんに、思い思いのコースをたどっていただく街歩きです。これまでに、大阪を中心に関西一円の60ヶ所以上で開催してきました。

参加者の方々は、ある駅の改札などに集合していただき、簡単にエリアの説明をした後すぐに解散。そこから90分間、自由に街を歩いて

街を観るための方法は、誰もが何かしら持っている。名所旧跡や名店を訪ねるといって観光の目録でもいいし、「ここで暮らすと便利かな?」という生活者の目録でもいい。また、「この



終了後には、毎回レポートを作成し、気付きのポイントをまとめ、共有します。

にある大阪ガス都市魅力研究室の企画として2014年に始まりました。目的を一言で言うなら「街のリサーチ」です。そこがどういふ街なのか、どんな歴史があり、今はどんな状態で、これからどうなりそうなのか? 街を歩きながら、地元の人に話を聞きながら探っているのです。

これまでに「Walkin' About」を開催したエリア

- 大阪市** 八幡屋・築港・三国・松屋町・上本町・木津卸売市場・美草園・野田・北野・西九条・姫島・蒲生四丁目
- 大阪府** 住道・野崎・鴻池新田・四条畷(大東市) 尾崎(阪南市) 羽衣(高石市) 庄内(豊中市) 茨木 吹田 瓢箪山(東大阪市) 藤井寺 高槻 枚方 深井・堺東(堺市) 古川橋(門真市) 箕面 河内長野
- 兵庫県** 新開地・和田岬・三ノ宮・神戸港(神戸市) 船坂・甲子園(西宮市) 川西能勢口(川西市) 姫路 高砂 三田 小林・逆瀬川(塚原市) 園田・立花・塚口(尼崎市) 伊丹 明石
- 京都府** 中書島・河原町・桂・京都駅(京都市) 大山崎
- その他** 草津・南草津(滋賀県草津市) 王寺(奈良県王寺町) 和歌山

中之島でやってみた!

去る10月の日曜日、実際に中之島で「Walkin' About」を開催。10名の参加者全員で、堂島川と土佐堀川に挟まれた東西約3kmの島内を、それぞれの視点から探りました。

1. 集まる

午後3時に大阪市役所前に集合。中之島についての簡単な説明と自己紹介の後に解散。メンバーの多くは過去に何度も参加し、それぞれの街の見方を培っておられる方ばかりです。集合時間までにフライングで歩いたり、前日までに予習していたりする気合の入ったメンバーも何名かおられました。



2. 歩く

参加者は思い思いに歩き、写真を撮ったり、喫茶店や呑み屋に入ったりし、出会った人に話しかけたりしています。通常は90分ですが、今回は2時間に延長。歩くだけでなく、その後に対話をセットすることで、自分なりの視点を得るために自然と個性が発揮されるのも「Walkin' About」の特徴です。

お店にはどんなお客さんが来るだろうか? というマーケティング的な観点や、「どういう意図でこういうデザインにしたのか?」というプランナーの視点を持って歩いてみると、今まで気付かなかったその場所の新たな側面が見えて

Walkin' Aboutでの時間の過ごし方

- 現在の地図を調べ、気になった場所に行ってみる。
- 昔の地図と現在の地図とを見比べ、変わっている場所/いない場所を見る。
- 神社・お寺・祠・お地蔵さんなど、昔から変わらずそこにある場所に行く。
- 商店街やスーパーマーケットに行き、売られているものを確認する。
- お店や公園など、自分好みの場所を見つけてくる。
- 知り合いや地元の人に おすすめの場所を聞いて行ってみる。
- 喫茶店・呑み屋などで、そこでしか聞けない話を聞いてくる。
- そこで暮らすとして、生活者目線で街の利便性を調べる。
- 自分の専門分野の視点から、街の特徴をつかむ。



3. 語り合う

街歩きを終え、再集合後は土佐堀通沿いにあるカフェへ。お茶を飲みひと息つきながら、1人5分程度で見聞きしてきたことを共有します。参加者にとっては、自分が選ばなかったコースの話をいろいろと聞ける、有意義な時間になっています。

からです。一人で街を歩くよりも、またガイドされてみんまで歩くよりも楽しく、かつ発見が多い。それこそが「Walkin' About」の最大のポイントであり目的なのです。

そして、街を読み解く。

「Walkin' About」はここからが本番。歩いて気付いた視点を元に、街を読み解いていきます。どのような部分に注目すべきなのか、これまでの「Walkin' About」の成果に加えて、中之島での例も踏まえてお教えしましょう。さあ、次のページからは実践編です。

街読みのカギ その1

「出会った謎を大事にする」



Walkin' About @庄内より
(2014年11月)



街を歩いていると、目の前にさまざま
な「謎」が立ち現れます。そうした
時には近くのお店で尋ねたり、ネット
で調べたりします。すると、その街の
新たな側面が明らかになってきます。
大事なことは、こちらから何らかの働
きかけをしないと、謎は謎のままで終
わるということです。

例えばこの写真は豊中市庄内にあ
る木造賃貸アパート。みなさんは「な
ぜこんなにエアコンの室外機が？」と
思うことでしょう。よく見ると、窓に
はサッシが入っています。
庄内は大阪国際空港のすぐ近くにあ
り、周辺の航空機騒音が著しい区域と
して認定されています。そして昭和57
年（1982）以前に建てられた住宅
については、防音サッシの設置や壁・
天井の改修やエアコン・換気扇等の設
置にかかる費用が自治体から助成され
ているとわかりました。だからこんな
風景が見られるんですね。

中之島で出会った「謎」



鯉との縁を 物語る場所。

中之島6丁目で一軒の鯉問屋を見かけた。
また、銚流(ほこながし)橋北詰からすぐ東には
[志津可]という、江戸流鯉料理店を見かけ
た。調べてみると、5月から10月の間には、少
量ではあるが淀川の天然鯉も扱っているよう
だ。川に囲まれた中之島と鯉は確かに縁が
深そうだ。昔の中之島には鯉を食べさせるお
店はもっと多かったのだろうか？

バスの 時刻表から推理。

市バス路線に沿って中之島西端にある船
津橋まで行ってみた。バス停の時刻表を見
ると、朝8時台には6分間隔でバスが着くが、夕
方の帰宅時には20分に1本しかない。残業
などで帰宅時刻がバラバラになるためか、帰
りは赤ちようちんで一杯やる人が多いのか、は
たまた福島駅・新福島駅まで歩いて帰るの
かもしれない。

外国人は どう過ごしている？

剣先公園で見かけた外国人の方々
「Youは何しにナカノシマへ？」と質問してみ
た。カナダ人の男性は「都市の近く 公園」と、
アメリカ人の男女「大阪 公園 美しいバラ」と
検索してたどり着いたのだそうだ。写真のトル
コ人の2人組とは言葉がまったく通じず、グ
ーグル翻訳でどうにか会話。「ホテルが近く、気
持ちはいいので散歩していた」のだそうだ。

●中之島の各スポットはP15の地図内にポイントを記載しています。



Walkin' About @三田より
(2015年9月)

街読みのカギ その2

「昔からあるものに注目する」



街には現在だけでなく、過去のさまざまな時代の建物や区画や構造物が複層的に残されています。古い民家、地蔵、水路、大きく育った木、路傍に大きな石があるところは、おそらく50年、100年前にも集落だったのでしょう。そのそばにアパートやマンションなどが建っている場合には、かつてそこには田畑か大きな屋敷などがあったのでしよう。

昔からそこにあるものに注目するこ

とで、そこには昔どういう暮らしがあり、どういう経済に従っていたのかを推察することができます。

この写真には、1軒だけポツンと残された昔からの日本家屋が写っています。こういう風景は、都市化された地域のあちこちで見られます。おそらく100年前には周り是一片の田んぼだったでしょう。そして周りの土地は、この家の当主が代々受け継いできた土地だったのではないのでしょうか。

中之島にある古いもの



高さの違いに歴史あり。

土佐堀川の南側に低層の建物が並ぶ一角を発見した。左の「中央炉材」は大正10年(1921)創業。耐火物の築炉工事などを行う会社で、当初は硯石鉱山の経営も行っていたらしい。真ん中の赤い建物は古い銀行を改装したイタリアンレストラン「サリーレ」、右の「大阪宣研」は昭和40年(1965)年に設立された広告制作会社。



ふとした所に蔵屋敷の名残。

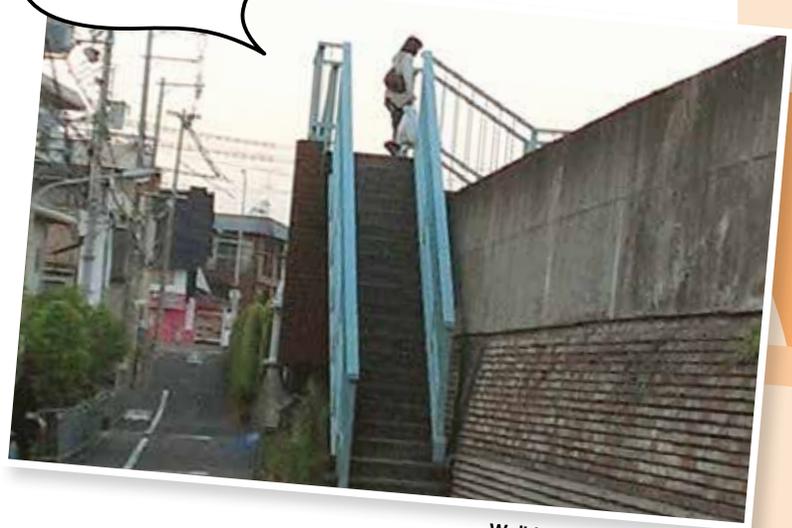
大阪大学中之島センターの前庭。大阪大学医学部で使われていたレンガを敷き、医学部の建物を囲んでいた柵の柱石や、かつてあった蔵屋敷の礎石などを再利用して椅子やベンチをつくったのだそう。八重桜が植えられているのは、桜の通り抜けで有名な大阪造幣局の八重桜とつながりたいという思いからだというのが、ずいぶん距離がある。



白壁の蔵が伝える歴史。

中之島東部の堂島川をはさんだ北側にある菅原町には、白壁の蔵が今も点在している。江戸時代から昭和初期にかけて、天満橋から天神橋にかけての大川沿いには天満青物市場が開設されていた。菅原町には乾物問屋街が形成され、最盛期の大正時代には約200軒もの問屋や仲買人が集まっていたそうだ。この蔵はその名残のようだ。

住んだら
大変そうだけど…



Walkin' About @住道より
(2014年5月)

街読みのカギ その3

「生活者の視点 を意識する」



どんな人でも自分の住んでいる街には詳しいはずですし、生活者の視点で考えることには慣れているはず。駅からの距離、生活に必要な施設やお店の存在、安全性、愛着が持てそうな場所など、「自分がそこで暮らすとしたら…」という視点から探る方法はない。知らない街を読み解く時に有効なだけでなく、より良い街をデザインするために不可欠でもあります。

写真は大東市を流れる寝屋川にか

かる橋の下側の階段です。大東市では昭和47年(1972)の豪雨により寝屋川・恩智川が氾濫し、流域は広範囲にわたって浸水しました。その後の治水工事により川幅は拡張され、護岸工事がなされました。

6mほど登らないと川を渡れないのは大変ですが、地元の人々に話を聞いてみると、この護岸で自分たちの生活が守られているという意識が強いようです。

島民はどんな生活?



H



G

スーパーの品揃え。

スーパーマーケットに注目してみた。[ライフ土佐堀店]では毎日曜はポイント3倍セールをやっている。訪れたのは消費税増税後初の週末だったが、商品を出積みにしてセールに備えていた。寿司パックのサイズや、「牛肉どんと1kg」といった商品の存在からみて、週末には暮らし向きの豊かなファミリー層が買いものに来るのだろう。営業は深夜1時まで。遅くまで働いてから買い物をして帰る人も多いのだろうか。堂島大橋南詰のザ・パークハウス中之島タワーの1階は、[阪急オアシス中之島店]が入っていた。入口すぐの果物売場にはドライフルーツコーナーがあり優雅な感じがする。奥にはイトインコーナーが充実し、パソコンで仕事をしている人もいた。



中之島の地元ライフ。

剣先公園のすぐそばに住んでいる人は、中之島の日常を楽しんでいるようだ。マイボトルにカフェラテを入れて、サンドウィッチを持って公園を目指したり、朝、[道の駅はちけんや]で行われる「はちけんや体操」に参加したり。その他にも、お抹茶を点てたり、ライブラリーを開いたり、ウォーキングしたり、寝転んで月や星を眺めたり、橋のライトアップを愛でたり…。中之島を気兼ねなく楽しめるのが幸せなのだろう。



街読みのカギ その4

「誰かの意図に気付く」

街に残されている建物や構造物の背景には、さまざまな時代の人々が、それぞれの時代に凝らした「意図」が存在しています。「なぜこんな風にデザインしたんだろう?」と問い、つくり手の意図を探っていく作業は、芝居を読み解く作業にも通じるところがあります。

場台によっては、数十年や数百年前に誰かの意図や時代の必然によって生み出されたものが、いつしか時代遅れになり、忘れられたりしつつも残されている、ということもあります。写真は京都市伏見区中書島。宇治川の流れを引き込んだ運河沿いに酒蔵の建物が並んでいます。自動車も鉄道もなかった時代には、この地は水上交通・物資輸送の中継地としてにぎわっていました。時代は流れ、かつての経済的な繁栄の文脈からは外れましたが、残された建物や風景は歴史的資源として再評価されています。



Walkin' About @中書島より
(2016年3月)

昔はどう使われていたのか?



中之島の都市デザイン



古いままか、新しくするか。

かつての近代建築の一部を再現し、その上に高層建築を新築する手法を「腰巻ビル」と呼ぶそうだ。多くの人々に愛された景観の保存と、容積率を活かして開発利益を得る「一挙両得」を目指した現実解といえる。中之島ならダイビル本館(1925年築、2013年再建)が代表的だが、余りによく再現されていて、上下が別々のビルと思う人もいそうだ。



川を感じさせるために。

土佐堀通の北側に建つビルには、向こう側が見通せる構造になっているものが多いことに気がついた。これらの風景は、水辺景観を活かすために、大阪市がこうしたデザインを奨励したことによって生まれている。せっきゃく川があるのだから、建物で目隠しをしてしまうのではなく、道路からも見えるようにしたいという意図なのだろう。



川沿いをどう使うか?

中之島界隈では、河川空間利用の規制を緩和し、にぎわいを創出する取り組みが盛ん。土佐堀川沿いのビルオーナーが川床を設ける「北浜テラス」は、水都大阪2009の時に始まり、現在では14店舗。大阪府も中之島バンクス(2009年)や中之島LOVE CENTRAL(2013年)など、河川敷地内を開発し、レストランなどの出店を促している。

歩いて見つけた中之島のストーリー。

文/山納洋



開設されている。中之島への移転は昭和35年（1960）。現在の建物は平成12年（2000）に建てられている。堂島大橋の北側には、JCH O大阪病院が建っている。昭和27年（1952）に大阪厚生年金病院として紡績工場の跡地に開設された病院で、10年ほど前に整理統合の対象となったが、その後公的に存続させることが決まり、全面建替えもなされている。



に大きな被害を受けた大阪大学は、昭和41年（1966）に理学部を豊中地区へと移転。医学部についても同様に移転を検討したものの、病院の移転を伴うために用地の選択に難



堂島川の北沿いに建つ阪大附属病院（左側）。大正～昭和初期の絵葉書より。（大阪市立図書館蔵）

は、長らくここからの移転を目指していたようだ。昭和36年（1961）9月に来襲した第二室戸台風は、大阪市の約4分の1が浸水する高潮を引き起こした。この時に大きな被害を受けた大阪大学は、昭和41年（1966）に理学部を豊中地区へと移転。医学部についても同様に移転を検討したものの、病院の移転を伴うために用地の選択に難

新たに生まれつつある中之島からは、今後どんな新たな物語を見出すことができるのだろうか。

鉦にインスパイアされ、こんな物語にたどり着くことができた。現在、中之島には病院、ホテル、国際会議場、美術館、科学館、タワーマンションなどが集積し、新たに未来医療国際拠点や美術館が建設される計画も進んでいる。



中之島5丁目にある住友病院の1階の一角には、住友金属鉱山から寄贈されたという金鉱石と小鉦こぼくが展示されていた。添えられた説明を読むと、かつて住友家が所有していた別子銅山では昔から元旦にしめ縄で飾った大小2個の鉱石を山神社に供え、銅山の繁栄を祈願していたこと、その時に雪中を法被姿の従業者が歌に合わせ、櫓こに載せた鉱石を引き綱で神前に運んでいたこと、小鉦はそれを象徴したものであること、などが書かれている。

住友病院は、大正10年（1921）に住友グループの社会貢献活動の一環として、地域の方々に質の高い医療を提供することを目的に此花区恩貴島おきじまに



玉江橋の北詰には、関西電力病院がある。昭和28年（1953）に大阪市北区に創設され、昭和42年（1967）に現在地に移転している。このように、中之島西部周辺には400～600床規模の総合病院が3つも集まっている。このことは、

は、限界が以前には工業地帯であり、その跡地が病院の適地とみなされたこと、そして中之島4丁目に大阪大学医学部が、堂島川を挟んだ北側の福島1丁目に附属病院があったことと関係しているのだろう。だが、当の阪大医学部と附属病院

洪し、その後も中之島に長く留まることとなった。医学部と附属病院が千里地区の万博跡地への移転を終えたのは、平成5年（1993）のことである。中之島は、江戸時代には諸藩の蔵屋敷が立ち並び、物流の集散地として栄えたが、明治4年（1871）の廃藩置県により藩施設は廃され、公園や官庁舎、公共施設、学校など、新たな時代に必要とされた施設が集積することになった。つまり、江戸時代に拓かれたその時から、時代の要請に応じて変化していくことを宿命づけられていたのだ。今回、中之島を歩いてみると、大きな区画や施設が多く、人々の営みを観察して街を読み解くのは容易ではなかった。しかし、住友病院の金鉱石と小

今後の「Walkin' About」スケジュール

山納洋さんによる「Walkin' About」は今後も続く。読者諸君もぜひ参加してみよう。事前申し込みなどは不要で、参加費は無料。気軽に行ってみよう。

2019.12.8(日) Walkin' About @淡路(大阪市東淀川区)
集合時間・場所 / 2:00PM @阪急京都本線 淡路駅東改札
再集合時間・場所 / 4:00PM @同上

2020.1.11(土) Walkin' About @山科(京都市山科区)
集合時間・場所 / 2:00PM @JR山科駅改札
再集合時間・場所 / 4:00PM @同上

●問い合わせ ☎06-6205-2366(大阪ガス近畿圏部都市魅力研究室 担当:山納) <http://www.toshimiryoku.jp>

街読みのカギを
実践すべし



お土産は
カレーです

◎お申し込み受付中の講座

12/18 (水) 2019年12月講座「**大阪スパイス・ヒストリー**」
講師／**カワムラケンジ** (フードライター・スパイス料理研究家)

大流行中のスパイスカレーを筆頭に、街の飲食店や家庭料理でも気になるキーワードとなっている「スパイス」。ただ、その定義は意外に曖昧で、使い方もさまざまであることから、単なる流行りものと認識されている面もある。ところが、ブームの背景を丹念に紐解いていくと、実はスパイスは大阪の街や私たちの暮らしとも関係が深いことがわかってくる。今回の講師はフードライターとして、またスパイス専門店を営む立場から20年以上にわたってスパイスの流行を見守り続けてきたカワムラケンジさん。美味しく刺激的なスパイス・ヒストリーをご紹介します。また、カワムラさんがおすすめる大阪で味わってほしいカレー店やスパイス料理店のご案内します！

日時／2019年12月18日(水)7:00PM～8:30PM頃(開場6:30PM)
会場／堂島ビルディング 9階ホール 受講料／2,200円(お土産付き)



1/15 (水) 2020年1月講座「**古地図で謎解き! なにわ七不思議**」
講師／**本渡章** (作家・古地図コレクター)

おなじみの古地図講座、今回はいつもとは少し趣向を変えて、みなさんを古地図の不思議の世界へご案内します。現在とは異なる街の姿を表した古地図には、今となってはよくわからなくなってしまった謎がたくさん隠れている。そんな古地図ミステリーをクイズ形式で解き明かしてくれるのは、古地図コレクターとしても知られる本渡章さん。大正時代にあった「幻の区」とは？ 戦前の地図に「大阪都」が描かれている？ なぜか「梅田」が二つある地図…など、不思議な古地図の謎を解きながら、大阪の歴史のディテールを語っていきます。参加者にはオリジナルの古地図グッズ(非売品)もプレゼント。

日時／2020年1月15日(水)7:00PM～8:30PM頃(開場6:30PM)
会場／大阪市中央公会堂 小集会室 受講料／2,000円(お土産付き)



おなじみ
本渡章さん

◎2020年1月6日よりお申し込み受付開始

2/6 (木) 2020年2月講座「**関西ローカル鉄道のここがすごい!**」
講師／**田中輝美** (ローカルジャーナリスト)

ナカノシマ大学で開催してきた講座をベースにした書籍『すごいぞ! 関西ローカル鉄道物語』がいよいよ発売。それを記念して、著者の田中輝美さんがあらためて関西のローカル私鉄の面白さを語ります。沿線人口が減り続ける中、イベントや観光列車などでなんとか地域の灯を消さぬように努力が続けている。関西全11社のローカル鉄道の魅力をご紹介します。本とセットになったお得な講座です！

日時／2020年2月6日(木)7:00PM～8:30PM頃(開場6:30PM)
会場／大阪府立中之島図書館 別館 受講料／3,000円(本とセット)、1,800円(受講料のみ)



ついに書籍化!

ナカノシマ大学からの重要なお知らせ

2019年12月以降に開催されるナカノシマ大学および天神寄席から、受講ハガキの送付を取り止めております。また、ハガキ・FAXでのお申し込みも廃止し、webサイトからのお申し込みのみとなります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

◎詳しい開催情報やお申し込み受付の情報はナカノシマ大学webサイトでご確認を!

<https://nakanoshima-daigaku.net/>

ケータイや
スマホからは
こちら!→



お問い合わせ
☎06-6484-9677
(ナカノシマ大学事務局)

天満天神繁昌亭
毎月25日のお楽しみ

天神寄席にいらっやい

十二月席

●お題「落語小説」

「落語山説の落語」

鼎談のゲストは落語小説『甘夏とオリオン』(KADOKAWA)をまもなく出版する増山実さん。作中で取り上げられているネタを集めてみました。

落語 露の新孝「つる」

桂米蔵「一文笛」

桂米輔「宿替え」

桂二葉「仔猫」

桂吉弥「天神山」

鼎談 「落語山説を書いた訳」

ゲスト 増山実(小説家)

高島孝次(大阪大学招聘教授)

桂春彦



桂米輔



桂吉弥

開催日/12月25日(水)

開演時間/6:30PM

(開場6:00PM) / 受付開始5:45PM

受講料/2300円

(通常:前売2500円/当日3000円)

●お申し込み方法などはP9を参照してください。

一月席

●お題「お墓」

「終活・墓活・笑活」

就活、婚活、終活…人生にはいろいろな活動がありますが、極めつきはやつぱり「墓活」。死んでからでは遅い、お墓やお葬式のネタで笑いながら墓活を。

落語 笑福亭松五「胴斬り」

桂阿か枝「お血脈」

桂今朝「短命」

桂塩鯛「向う付け」

笑福亭仁扇「死神」

鼎談 「はかなげな最期は」

ゲスト 井上三ノル(漫画家)

高島孝次(大阪大学招聘教授)

桂春彦



桂塩鯛



笑福亭仁扇

開催日/1月25日(土)

開演時間/6:00PM

(開場5:30PM) / 受付開始5:15PM

受講料/2300円

(通常:前売2500円/当日3000円)

●お申し込み方法などはP9を参照してください。

二月席

●お題「役割語」

「セリフは人を表す?」

落語 桂佐ん吉「池田の猪買の」

桂米左「骨つり」

露の新活「宿屋枕」

笑福亭松枝「三枚起請」

鼎談 「役割語の醍醐味」

ゲスト 金水敏(大阪大学教授)

高島孝次(大阪大学招聘教授)

桂春彦

開催日/2月25日(火)

開演時間/6:30PM

(開場6:00PM) / 受付開始5:45PM

受講料/2300円

(通常:前売2500円/当日3000円)

●お申し込み方法などはP9を参照してください。

◎注意事項

※受講料は当日、繁昌亭入場口脇の「ナカノシマ大学受付」にてお支払いください。
 ※各公演の予定枚数に達し次第、予約受付を終了します。
 なお、ナカノシマ大学では当日券の販売は致しません。
 ※詳しい開催情報はナカノシマ大学のwebサイトで随時更新しています。

※2019年12月以降に開催されるナカノシマ大学および天神寄席から、受講おガキの送付を取り止めております。また、ハガキFAXでのお申し込みも廃止し、webサイトからのお申し込みのみとなります。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

大阪水上バス・
岸田俊徳の



水辺で会いましょう

大阪水上バス株式会社企画宣伝部長。ミナミの劇場プロデューサーを経て、関西・大阪21世紀協会にて大阪の文化事業に関わる。2010年より現職。

冬の夜の川に思う。

今さらですが、2009年に水都大阪フェスティバルが始まり、あっという間に10年。僕が大阪水上バスに来たのもその頃で、当時は、水辺が少しずつ活気づいてくるのを楽しんでいました。

今さらですが10年！ いろんな経験をしてきましたが、実はいまだに馴染んでいないことがあります。それは夜の川。僕は船会社に在りながら、あまり水が得意ではないのです。と言っても泳げないのではなく、映画『ジョーズ』ではないですが、「何か出てくるかも！」という恐怖です。だから海に行っても深い所には絶対行かないのです。

夜の大河にもその怖さがあります。アクアminiという小型のオープン船でナイトクルーズなどご案内するのですが、たまに水面が大きくユラリと揺れるのを見たりします。たぶん大きな鯉なのだと思います。鯉釣りにぎわう大河ですから、きっとそうに違いないんだと思うのです。

だけど、水辺の明かりに揺らぐ水面は少し不気味…。昔、大阪城のお堀に



は妖怪(怪獣)がいたそうで、2mを超える大きな死体が見つかったといろんな文献にも残っているほどですから、この大河に何がいたっておかしくないと思うのです。

でも冬の夜は怖いよりもきれいが勝ちますよね！ 中之島のあちらこちらでイルミネーションが飾られます。あまり知られていませんけど、毎年ドリックカムが水辺にイルミネーションツリーをプレゼントしてくれていたりもする

んですよ。

そんなイルミネーションを船から見るとよし、水辺を歩きながらライトアップされた橋や船を見るもよし。寒い夜にこそ、のんびり外で過ごすのもいいかもしれません。

あと、水面の揺らぎもチェックしておいてくださいね。

アクアライナー



☎0570-035-551 <http://suijo-bus.osaka/>

ベイエリアの夜景とゴスペルライブを楽しめる「サンタマリア クリスマスクルーズ」



2019年12月20日(金)～25日(水)の6日間、大阪ベイエリアを周遊する「サンタマリア クリスマスクルーズ」を期間限定で運航します。大阪港の夜景スポットを巡りながら、クリスマスソングを中心としたゴスペルライブをお楽しみいただけます。

ゆっくりとクルーズを楽しみたい方には3階にあるファーストクラス(追加料金1,000円)がオススメ。暖房完備のソファ席があり、スパークリングワインまたはソフトドリンクを選べるワンドリンク付きで、プロマジシャンによるマジックショーもご用意しています。

サンタマリア クリスマスクルーズ

- 日程 ● 2019年12月20日(金)～25日(水)
- 出航時間 ● 1便目:4:30PM出航 / 2便目:6:00PM出航
- 乗下船港 ● 海遊館西はとば(大阪市港区海岸通1-1-10)
※OsakaMetro中央線大阪港駅より徒歩10分
- 所要時間 ● 約60分
- 乗船料金 ● 大人2,100円、小学生1,050円(ファーストクラスは+1,000円)
- 予約 ● ☎0570-04-5551 (10:00AM～5:00PM)

M A I N F O R M A T I O N

12月 EVENT 中之島、そして御堂筋が光に包まれる、「大阪・光の饗宴2019」の見どころ。

大阪の冬の風物詩「大阪・光の饗宴2019」の季節がやってきた。中之島で行われるOSAKA光のルネサンス2019では、大阪市中央公会堂がプロジェクトマッピングで彩られる。学生とプロが光のアートプロジェクトを立ち上げ、大阪市中央公会堂を舞台に光のエンターテインメントを展開。その他、グルメ屋台が並ぶOSAKA光のマルシェなど、多数のプログラムを予定。中之島の西エリア、ほたる



OSAKA光のルネサンス2019 ©大阪・光の饗宴実行委員会

OSAKA光のルネサンス2019
期間／2019年12月14日(土)～25日(水)
※一部点灯／11月4日(月・振休)～12月13日(金)、26(木)～31(火)
時間／5:00PM～10:00PM
(※一部4:00PM～11:00PM)
場所／大阪役所周辺～中之島公園

中之島ウォーターファンタジア
期間／2019年12月13日(金)～25日(水)
時間／6:00PM～9:00PM
(※ショーは10分毎に約5分間開催)
場所／福島(ほたるまち)港

御堂筋イルミネーション2019
期間／2019年12月31日(火)まで
時間／5:00PM頃～11:00PM
場所／御堂筋
(阪神前交差点～難波西口交差点)
©大阪・光の饗宴2019の各プログラムの詳細はホームページにて
<https://www.hikari-kyoen.com/>

まち港では、音楽に合わせて堂島川の河川水を活用した高さ10mの噴水が舞い踊る「中之島ウォーターファンタジア」を開催。中之島まちみらい協議会など周辺企業も参加する



御堂筋イルミネーション 昨年度の写真 ©大阪・光の饗宴実行委員会



中之島ウォーターファンタジア 昨年度の写真

「ひかりの美」プロジェクトは、装飾ポイントを広げ「光の道」で中之島の東西を結ぶ。御堂筋イルミネーション2019では、大阪役所前など6箇所にもフォトメニューポイントが新登場。SNS映えするポイントが増えた。

12月・1月 NEW SHOP 「魚市場」感の定着してきた八軒家浜。忘年会・新年会は「まぐろスタジアム」で。

八軒家浜 まぐろスタジアム
☎06-6910-0150
11:00AM～3:00PM
5:00PM～10:00PM
(土・日・祝11:00AM～8:00PM) 無休
<http://www.daiki-suisan.co.jp/>
hachikenya_tenka/

八軒家浜市
開催予定日／12月1日(日)、1月5日(日)、2月2日(日)、3月1日(日)
※1月は市場の関係で12日になる可能性あり

毎月第1日曜、「八軒家浜市」が行われている「川の駅はちけんや」。この夏には新たに「まぐろスタジアム」もオープン。鮮魚料理を味わえる新スポットが加わり、ますます魚市場感が増しつつある。年末年始の宴会シーズンには、太っ腹なコースメニューが登場。「豊漁鍋コース」は、新鮮な魚介の寄せ鍋に造り盛り合わせ、寿司などが付いたイチ押しコース。その他、生・まぐろ食べ尽くし、かにすきなどバラエティ豊富。忘年会や新年会にぜひ。



新登場

NEW SPOT

佐伯祐三、北野恒富、モディリアーニ… 新しい美術館の作品がアートパネルに。

先日、リニューアルを果たした中之島三井ビルディングの4階にオープンした、カフェレストラン「CUIMOTTE NAKANOSHIMA」。オフィスの壁には絵画作品などの大きなアートパネルが並んでいる。そのラインアップは、イタリアの画家・モディリアーニの裸婦像や、大阪にもゆかりの深い佐伯祐三や北野恒富など豪華なものばかり。実はこれは「中之島アートウォール」と呼ばれる、ビルのリニューアルオープンと共に始まった新しい試み。パネルになっているのはすべて、2021年



【CUIMOTTE NAKANOSHIMA】
(中之島三井ビルディング4階)
営業時間/8:00AM~9:00PM
定休日/土・日・祝日

度に開館する大阪中之島美術館の所蔵作品だ。「中之島のビルらしく、大阪の歴史や文化にまつわる発信をしたい」という思いから、ビルのオーナーである三井不動産と、現在建設中の大阪中之島美術館のコラボレーションが実現。「開館までの盛り上げ役の一つになってくれれば」と美術館側も乗り気で、年に2回ほどのペースで、展示内容を入れ替えていく予定。ランチタイムにごで行列をつくるワーカーたちに、中之島に新しくできる美術館の作品を紹介するというナイスアイデア。どちらも中之島を代表する都市機能でありながら、案外コラボすることの少なかったオフィスビルとミュージアム。そのきっかけと捉えてみて面白い。



中之島まちみらい協議会だより

第3回

「中之島の古い写真を募集しています」

私たちが運営しているホームページ「NAKANOSHIMA-STYLE.COM」では、かつての中之島を写した写真や絵葉書をご紹介します。今では見られない風景をご覧いただくことで、中之島の歴史・文化やその移り変わりを次の時代に伝えていきたいと考えています。こうした活動の一環として、中之島まちみらい協議会では、昔の中之島の建物や風景が写っている古写真を募集しています。

昭和時代（戦後を含む）までに撮影された中之島の写真をお

持ちではありませんか？ 街並みが写ったもの、川や公園などの自然、生活や行事を記録したものなど、昔の中之島を知る手がかりになるものなら、なんでも構いません。ご自宅のアルバムや、会社や団体に保存されているもので、そのような写真がありましたら、ぜひお送りください。

何気ないスナップ写真でも、その当時の街の様子がよくわかって案外貴重な資料になるかもしれません。ぜひ一度、古い写真に中之島が写っていないか、思い出してみてください。

募集要領 内容/中之島の風景(自然・まち並み)や生活・行事の様子など 撮影時期/昭和時代までに撮影されたもの(戦後を含む) 写真規格/写真のデジタルデータ6MB程度(JPEG・GIF) 活用方法/中之島スタイル.com「中之島の歴史写真館」に掲載 募集期間/通年

応募方法 写真をスキャンやデジカメでの再撮影などにより画像データ(6MB以下)に保存し、それぞれの写真についてHPをご覧いただき必要事項をE-mail本文へご記入のうえnakanoshima@nakanoshima-style.comにお送りください。なお、送付枚数が多い場合は、事前に事務局宛にご連絡をお願いいたします。

◎その他の留意事項については下記のHPにてご確認ください



中之島スタイル.comの中で紹介されている。明治時代から昭和初期にかけての中之島の写真。

中之島の地域情報サイト

中之島スタイル.com

<https://www.nakanoshima-style.com/>

大阪—京都 プレミアムな旅だより 冬



新しいライフスタイル、
「GOOD NATURE」に
出会う場所。

施設「GOOD NATURE STATION」が、12月9日、京都・

四条河原町にオープンします。

最近、ますます意識の高まっているビオやオーガニック。それらの持つ「ストーリーがあり、安全・安心である」という要素を大切にしながら、スタンスはあくまで気軽に楽しめ、美味しく味わえること。1階はマルシェ&レストラン、2階はガストロノミー（美食）、3階はコスメやビューティーサロン、そして4〜

信じられるものだけを美味しく、楽しく取り入れる。そんな新しいライフスタイルを提案する複合型商業

9階はホテルと、各フロアによって

出会えます。

実はこちらを開業したのは、島民にはおなじみの京阪ホールディングスです。「普段の生活にちよつとずつ、からだや環境にいいことを」という、BIO STYLEを推進しています。

そのシンボルとなるのがまさにこの場所。健康的で良いものを自分にとって合った形で取り入れるヒントが集まるここは、まさに新しい暮らしのステーションなのです。

1F GOOD NATURE MARKET

有機野菜の販売のほか、それらを使ったメニューが味わえるレストランも並ぶ活気溢れた「市場食堂」的なフロア。オリジナルのフードブランド「SIZEN TO OZEN」の商品や、オリジナルパティスリーブランド「RAU」のスイーツなども並びます。



2F GOOD NATURE GASTRONOMY

日本人ならではの技術と表現力によって、世界から注目を集める気鋭のシェフたちによるレストラン3店舗がオープンします。素材を追究し、五感で料理を味わう。新しい食体験を満喫できるプレミアムガストロノミーフロアです。



3F GOOD NATURE STUDIO

心と体に活力をチャージする「リジューベネーション」がテーマ。トータルビューティーサロンやオリジナルコスメの「NEMOHAMO」のほか、クラフトも並びます。高島屋京都店と連絡通路で結ばれ、シームレスにショッピングを楽しめます。



4〜9F GOOD NATURE HOTEL KYOTO

四条河原町の街なかになりながら、ゆったりとステイを楽しめるホテルもオープン。4階のエントランスフロアにあるボタニカルカフェ&バー「Hyssop」は、宿泊客以外も利用可能。植物を使ったカクテルやフード、朝食も楽しめる。



◎ホテルやレストランの予約、施設の情報はホームページにて <https://goodnaturestation.com>



SIZEN TO OZEN

無農薬の野菜や調味料無添加の素材を使ったオリジナルのフードブランド。旨味ペーストやソース、ドレッシング、カレーなど、体が喜ぶ素材だけで「よくぞここまで」と驚く豊富なラインアップが嬉しい。

NEMOHAMO

植物を丸ごと低温真空抽出法によりエキス化。良質な酵素やビタミン、ミネラルなどをフレッシュなまま使用したコスメブランド。石油由来原料はゼロ、天然成分のみでつくられた自然の力を実感できる化粧品です。

四条河原町「GOOD NATURE STATION」へは
プレミアムカーでおでかけください。



運送区間 淀屋橋(大阪)⇄出町柳(京都) 特急停車駅(淀屋橋・北浜・天満橋・京橋・枚方市・樟葉・中書島・丹波橋・七条・祇園四条・三条・出町柳)
料金 400円・500円 (別途乗車券が必要です。なお、その他の車両は従来どおり乗車券のみでご利用いただけます。)
予約方法 予約専用サイト「プレミアムカークラブ」または特急停車駅のインフォメーション等で「プレミアムカー」をお買い求めください。
詳しくは <https://www.keihan.co.jp/traffic/premiumcar/> 京阪電車お客さまセンター ☎06-6945-4560(9時~19時※土・日・祝日は17時まで)





◎『島民』はここでもらえます。

- 京阪グループ 京阪電車主要駅／京阪特急プレミアムカー／ホテル京阪 淀屋橋／ホテル京阪 天満橋／ホテル京阪 京橋 グランデ／パナソニック京阪天満橋／京阪シティモール／京阪モール
- 大阪市北区・中央区・福島区 【書店】旭屋書店 梅田地下街店／大阪高裁内ブックセンター／紀伊國屋書店 梅田本店／グランフロント大阪店・本町店／ジュンク堂書店 大阪本店・天満橋店／清風堂書店／西日本書店／ブックスタジアム／文芸堂書店 淀屋橋店／MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店／隆祥館書店 【公共施設・大学関連施設など】アイスポット／朝日カルチャーセンター／味の素 食のライブラリー／朝日放送テレビラジオ／大阪企業家ミュージアム／大阪倶楽部／大阪国際会議場／大阪市中央公会堂／大阪市立科学館／大阪市立総合生涯学習センター／大阪市立東洋陶磁美術館／大阪府役所市民情報プラザ／大阪城天守閣／大阪商工会議所／大阪大学中之島センター／大阪21世紀協会／大阪府立中之島図書館／大阪歴史博物館／川の駅はちけんや1F／関西学院大学 大阪梅田キャンパス／北御堂／くすりの道修町資料館／慶應大阪シティキャンパス／国立国際美術館／芝川ビル／市立住まい情報センター／適塾／ドーナチカ／中之島香雪美術館／ホテルNCB／立命館大阪オフィス／龍谷大学大阪梅田キャンパス 【店舗・医院など】アサヒスーパードライ梅田／江戸前鰻料理 志津可／cafe大阪茶会／co-ba nakanoshima／天満橋鍼灸整骨院／エルマーズグリーン コーヒーカウンター／大西洋服店／喫茶センター／喫茶SAWA／喫茶星霜／グランスイート中之島／黒門さかえ／The Court／五感 中之島ダイビル店／サウワ花店 中之島本店／ザ・メロディ／シアルベストコーヒー新聞電ビル店／じろう亭／Giron'd's JR／住友病院／セブンイレブン大阪証券取引所店／たまがわ鍼灸整骨院／デニムマッドネス／バストラレー／平岡珈琲店／白灯／ビルマニアカフェ／feu feu／FOLK／フレイルハウス／丸福珈琲店 中之島ダイビル店／ミニジロー／吉田理容所
- 大阪市内その他 【書店】旭屋書店 なんばCITY店／紀伊國屋書店 京橋店・天王寺ミオ店／喜久屋書店 阿倍野店／ジュンク堂書店 難波店／福島書店／丸善 高島屋大阪店／柳々堂／ループル書店【公共施設・大学関連施設など】大阪科学技術館／大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪市立中央図書館／大阪府立江之子島文化芸術創造センター／川口基督教教会 【店舗・医院など】アートアンドクラフト／オールドリバー／御舟かもめ／カルチャーカフェ上方／Calo Bookshop and cafe／バルビコ／ホステル64オオサカ／MANGUEIRA／Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店／枚方鳥屋書店／Books 呼文堂／水嶋書房 くずはモール店／大阪狭山市立図書館／大阪市立難波市民学習センター／大阪大学企画部広報・社学連携事務室／大阪大学 21世紀懐徳堂／大阪大学本部／大阪府立中央図書館／摂南大学 地域連携センター／豊中市千里文化センター「コロポ」／野村呼文堂／Mamma／郵政考古学会／ゆったりんこ
- 大阪府以外 クロスロードカフェ／ジュンク堂書店 西宮店／恵文社 一乗寺店／水嶋書房 丹波橋店／伊丹市文化振興財団／宝塚市立中央図書館／奈良県立図書館情報部／百線／八幡市立男山市民図書館／龍谷ミュージアム
- 東京 往来堂書店(千駄木)／BOOKSルーエ(吉祥寺)／B&B(下北沢)／隣町珈琲(荏原中延)／ONLY FREE PAPER(東小金井)／かもめックス(新宿)

◎バックナンバーが見られます。

最新号の発行と同時に、ひとつ前の号がweb上で閲覧できるようになります。創刊号から見たい方はこちらから。<https://nakanoshima-daigaku.net/about/tomiri/>

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

編集・発行人／大迫力(株式会社140B)

編集・発行／島民プレス 若狹健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所) 松本 創 山國恭子(株式会社140B)

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号 TEL.06-6484-9677 FAX.06-6484-9678

制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL) デザイン／山崎慎太郎 表紙イラスト／奈路道程 印刷／佐川印刷株式会社

●島民2020年春号 Vol.133は3月1日発行です!

いつものくらしに、 ちょっと美を。



普段の生活にちょっとずつ、からだや環境にいいことを。
それが、京阪グループのご提案する[ビオスタイル]です。
ひとや地球に、本当にいいものを取り入れていくことで、
あなたとみんなの明日を豊かに。そんな取り組みを通じて、
持続可能な社会の実現をめざすSDGsの達成にも貢献していきます。

京阪グループの「BIOSTYLE」



BIOSTYLEを食・モノ・コトで体感できるフラッグシップストア。 京都・四条河原町 GOOD NATURE STATION

